

Forest通信 令和5年 7

No.413

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭
Photo

高尾山のいきものたち

ヤマトタマムシ (タマムシ科)



虹色に光る緑色が美しい。細長い体で、体長は3～4cm。光沢のある緑色に赤紫色の縦縞があり、見る角度や光の方向で青や金色などに変化する。この光の加減で変わる色は「玉虫色」と言われる。

成虫は、6～9月に見られ、晴れた日中によく活動する。エノキやケヤキなどの樹冠を飛び回り、葉にとまってその葉を食べる。成虫の寿命は1～2ヶ月で、その間に繁殖活動を行う。卵は、エノキなど枯れ木の樹皮に産みつけられ、孵化した幼虫は幹の中で材を食べて成長し、2～3年で成虫となる。枯れ木を食べることで、木材を分解し土に返している。このように成虫は元気な木の葉を食べ、幼虫は古い木材を食べ、これら木のある豊かな森とともに生きている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.75

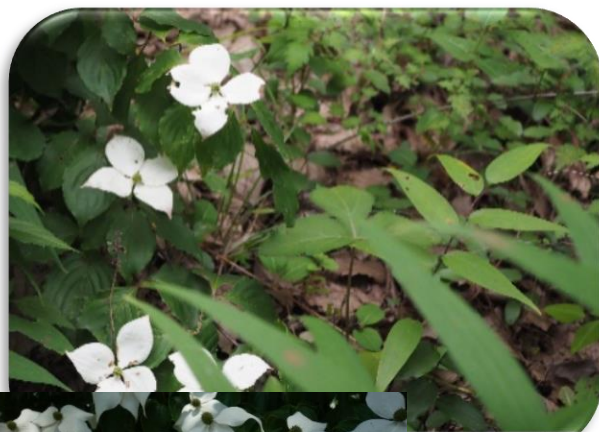
ヤマボウシ (ミズキ科)

東北南部から九州に分布する落葉小高木で、樹高15mになるものもあり、高尾山にも自生しています。公園、街路樹、家庭の庭木として植栽されています。ヤマボウシの開花は、ハナミズキよりも遅い5～7月頃で、花びらのような総苞片（葉が変化したもの）が目立ちますが、本当の花は総苞片の中心にある淡い黄緑色の球体で、30～40輪の小花です。名前の由来は、漢字で「山法師」と書き、中心に咲く花を僧侶の頭、白い総苞片を頭巾に見立て、頭巾を被った僧のようだということが名がついたといわれています。

木質は硬くて重く強靱で黄白色をしており、樫の木の代用としてカンナ台・木槌・工具の柄などに使用されてきました。

果実は、甘く生で食べることができ、生食以外にジャムや果実酒として浸けることもできます。やまぼうし酒は強壮、疲労回復に効果的といわれています。

(皿)



森林教室

東村山市立 南台小学校

5月30日（火）、東村山市立南台小学校5年生70名を迎えて、日影沢キャンプ場を拠点に森林教室を行いました。森林観察では、スギやヒノキをはじめケヤキやイタヤカエドなど樹木の特徴を興味深く聞いていました。治山施設付近では、沢沿いにサワガニを発見し、かわるがわる手のひらに乗せてみたり、触ったりしながら好奇心旺盛にその動きを観察していました。サワガニが生息しているということは、水質がよいというあかしでもあります。

観察コースの途中には、雨水が地表に流れ込み、土の壁を伝って水滴が流れ出ている場所もあり、水を蓄える「緑のダム」としての役割を果たしていることを観察できます。

水滴が継続的に流れ出ていることから、季節になるとその一角を住みかとしているタゴガエルも観察できるのですが、近頃は見かけません。ところが今日は、その周辺に数ミリほどの生物が飛び跳ねている状況を見つかり、よく見るとおたまじゃくしからカエルになって間もないものでした。児童の動体視力の鋭さにはいつも驚かされますが、タゴガエルも世代交代の時期となったのでしょうか。

午後は、座学により森林・林業の基礎を学んだ後は、恒例のヒノキの丸太切りにより児童はクライマックスを迎え、時間のある限り何度も輪切りに挑戦し、「いい匂い！」を連発していました。当日は天候も穏やかであったことから、児童の皆さんも快適に森林観察を楽しみながら学ぶことができましたと思います（久）



森林教室

東村山市立 化成小学校

6月5日（月）に東村山市立化成小学校5年生91名の森林教室を行いました。渋滞等の影響もあり、予定より30分遅れで到着した児童たちはやや疲れ気味の様子でしたが、開校式で、児童全員が代表のかけ声に合わせ「森林パワー やー！」と大きな声で気合いを入れ、森林教室の開始となりました。時間の制限もあるため、当初予定したスケジュールを大幅に変更し、午前中は、当センターのイベントをボランティアでお手伝いいただいているフォレストサポートスタッフの中から3名の方にも案内役をお願いし、全体を8班に分け森林観察を実施しました。



人数が多いため若干渋滞気味での森林観察となりましたが、年老いた我々の目ではとても見つけられないわずか数ミリの赤ちゃんガエル（タゴガエル？）を見つけ大喜びしたり、雨上がりの山道で滑って転んだり、中には水かさの増した沢に足を突っ込み靴がずぶ濡れになった児童もいましたがみんな楽しそうでした。午後は2グループに分け、森林学習と丸太切りを交互に実施しました。時間の都合で短めの学習、体験となりましたが、森林学習では、多くの質問が出され、丸太切りでは、5枚、6枚と切り落とす児童もいました。閉校式では、次から次へと感想が述べられ、児童代表の「今日学んだことを大切にしましょう」との言葉で森林教室終了となり、一人ひとりがスタッフに頭を下げ、お礼を言いながら宿舎へと向かって行きました。（谷）



森林教室

八王子市立 元八王子東小学校

6月13日（火）、八王子市立元八王子東小学校5年生42名の児童が森林教室に訪れました。

開校式の後、さっそく4班に分かれて森林観察へ出発です。当日は天気も良く朝から暑い日でしたが、歩き始めてすぐに森の中に入るとひんやりとした感じに。これも森林の恵みの一つとの説明に、児童の皆さんも納得。途中、小さな沢を石伝いに渡るところでは、さっそく沢の水に手を突っ込んでその感触を確かめます。緑のダムやそれによって一年中枯れることのない沢水、そのお陰で生きることができる沢ガニや水生昆虫などの話を聞きながら観察路を進みます。足元の色々な特徴を持つ植物、枝を広げた広葉樹やまっすぐに育つスギの大木、人工林や林業などの説明を所々で受けながら歩いて行くと、森の奥から鳥の音が。鳥に詳しいフォレストサポートスタッフがすかさず「聞こえるかな？」と児童に声をかけます。

2時間弱の山歩きですが、児童の皆さんは、普段、あまり見たり聴いたり触ったり嗅いだりしたことのない森の中の様々なことを体感できたようで、最後には一同「すごく楽しかった～」との感想を聞かせてくれました。（枝）



森林教室

東村山市立 北山小学校



6月16日東村山市立北山小学校5年生の児童51名が森林教室を実施しました。

午前には6グループに分かれての森林散策、午後は2グループに分かれて森林学習（座学）と丸太切りを交代で行いました。

午前の森林散策では、天候がすぐれないため、半分はお弁当を持っての散策で1部のグループは炭焼き小屋で昼食をとりました。散策では森林の働きや林業、森林の動植物や高尾山の説明を聞いて、植物に触れ匂いをかぎ、沢水に触れながら林内を歩きました。蜂の誘引捕獲器の前ではオオスズメバチの大きさに歓喜を上げたり、コクサギや山椒の匂いを嗅いで、「いい匂い」「変なおい」などの声が聞こえました。

午後の森林学習では、パワポによる森林の働きや特に「SDGs」の話し、地球温暖化をテーマにしたアニメーションの講義を熱心に聞いていました。

丸太切り体験は、FSS（フォレストサポートスタッフ）の方々が丁寧に教えてくれます。1枚目よりも2枚目3枚目と上手に切ることができました。皮を剥いて「妹への土産にします。」「いい香り！」と様々な厚みの輪切りを手に満面の笑みでした。

森林教室も終わり、次の目的地わくわくピレージに元気よく向かって行きました。（皿）



縄文人に挑戦だ!!火起こし体験

山の日
イベント

令和5年
8/11(金・祝)

各回とも 受付は10分前からです。

① 10:30～
② 13:00～
③ 14:30～

*当日先着順 各回6～8名
クラブ体験室 入口付近

縄文式
火起こし
体験

林野庁
高尾森林ふれあい推進センター



当センターでは「山の日」のイベントとして火起こし体験を行います。

縄文時代の人々が木を使って火を起していたことを体験し、木を使うことを身近に感じてもらうための取り組みです。



当日に体験できる火起こし方法はきりもみ式、弓切り式、ひも切り式の三つの方法です。

小さい子供から大人まで楽しめる火起こしにぜひ挑戦してください。



ひも切り式



きりもみ式



弓切り式



編集後記

梅雨が明けていないのに、暑い日が続きます。7・8月は夏休みのため森林教室はひと段落。秋に向けて体調管理に十分注意しましょう。(皿)



イワタバコ

Forest通信 NO.413

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先

高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail:ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>



国民の森林・緑の国